



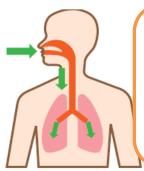
平成26年 3月12日発行

県「PM2.5」高濃度 初の注意喚起

福井県は2月26日、微小粒子物質「PM2.5」の大気中の濃度が環境基準の2倍を超える状態が続いたため、 住民に対して初めて注意喚起を呼びかけました。注意喚起が出されたときには下記の点に注意して下さい。

PM2.5 の特性

粒子を吸い込むと肺の奥 まで入りやすく、呼吸器や 循環器の健康被害を引き 起こす。



- 屋外での長時間の激しい運動や外出を控える。
- 2 屋内でも換気や窓の開閉に注意する。
- 3 呼吸器系や循環器系に病気のある人、子どもやお 年寄りは体調に応じて屋外活動や外出を控えるな どより慎重な行動を。
- 4 外出時には PM2.5 対応用のマスクを着用する。

これからも5月にかけて濃度が急増する可能性があります。

県の HP で最新の濃度の数値を公表しています。外出前にチェックしましょう。福井県

麻疹(はしか)患者が増加しています。

春から夏が流行の季節とされる麻疹ですが、今年に入ってから2月23日までの患者数が119人と、 昨年同時期の3.3倍となっています。麻疹は感染力が強く、空気感染します。

重症化すると肺炎や脳炎などを起こし、1000人に1人が亡くなると言われています。

麻疹の唯一の予防方法はワクチン

十分な免疫をつけるためには**2回の予防接種**が必要で す。定期接種の対象者(1歳児、小学校入学前の1年間 の幼児)はもちろん、医療・教育関係者や海外渡航を計 画している成人、麻疹にかかったことのない方や接種歴 が明らかでない方は予防接種をご検討ください。

~医療機関の先生方へ~

麻疹は診断後、できれば24時間以内に最寄 りの保健所へ届け出をお願いします。

海外、特にフィリピンへの渡航歴がある発熱 者等には、麻疹を念頭に置いた注意深い対応 をお願いします。

若狭健康福祉センター エイズ相談、検査時間を30分延長

2013年の新規 HIV 感染者、エイズ患者はあわせて1546人で**過去2番目**に多い結果でした。 早期発見すればエイズの発症を予防したり、進行をおさえることが出来ます。

『検査、それがスタートライン』

日時:4月から毎月第1、3月曜日 9時~10時半

場所:若狭健康福祉センター 2階



福井県感染症発生動向調査速報

備弁宗総保証完生期向調宜医報 (第6週平成26年2月2日~第9週平成26年3月2日) 2類:結核5名(0名) 4類:レジオネラ症1名(0名) 5類:侵襲性肺炎球菌感染症1名(0名) 梅毒1名(0名) *()内は若狭管内の発生

[発信者] 若狭健康福祉センター

地域保健課 田地・齊藤

TEL: 0770-52-1300 FAX: 0770-52-1058

メール: w-fukusi-c@pref. fukui. lg. jp ※ご意見ご感想をお待ちしています。